

第42期 中間決算説明資料

(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

株式会社 エノモト

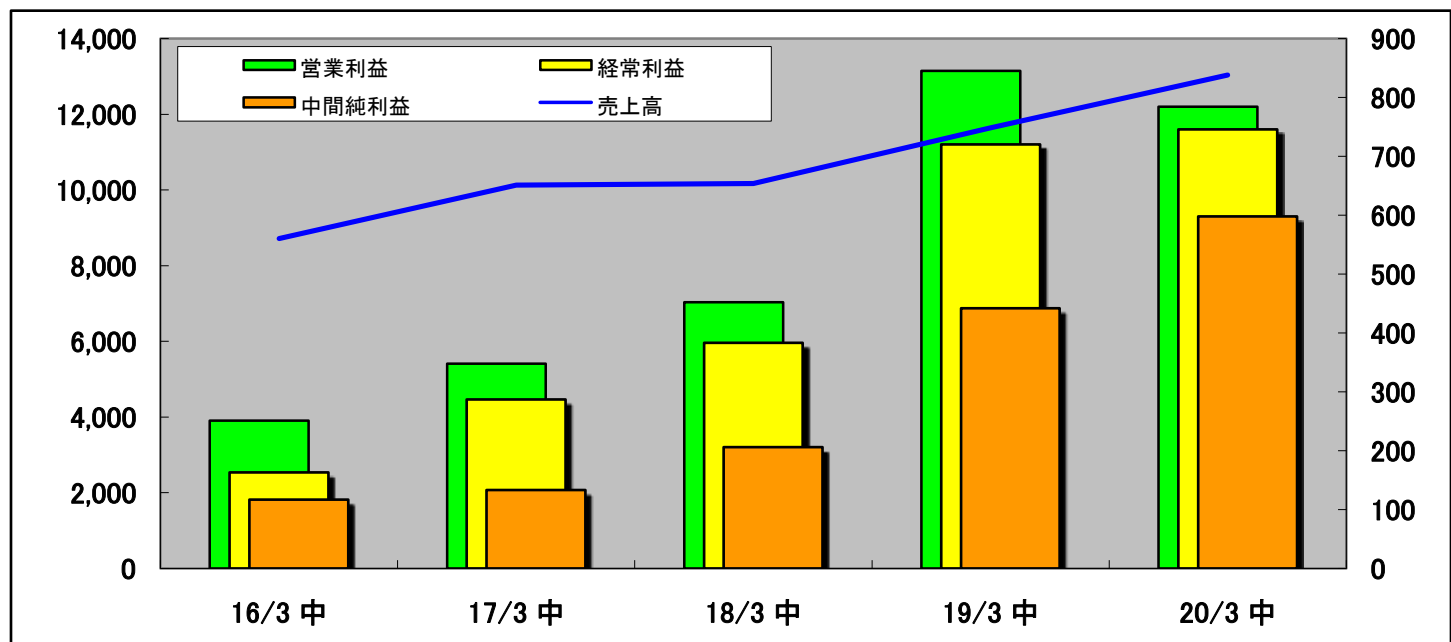




- 【会社名】 株式会社エノモト
- 【英訳名】 ENOMOTO Co.,Ltd.
- 【コード番号】 6928
- 【URL】 <http://www.enomoto.co.jp/>
- 【代表者】 代表取締役社長 榎本 正昭
- 【問合せ先】 専務取締役 管理本部長 山崎 宏行
- 【E-Mail】 ir@enomoto.co.jp
- 【本社所在地】 山梨県上野原市上野原8154-19
- 【電話番号】 0554(62)5111(代表)

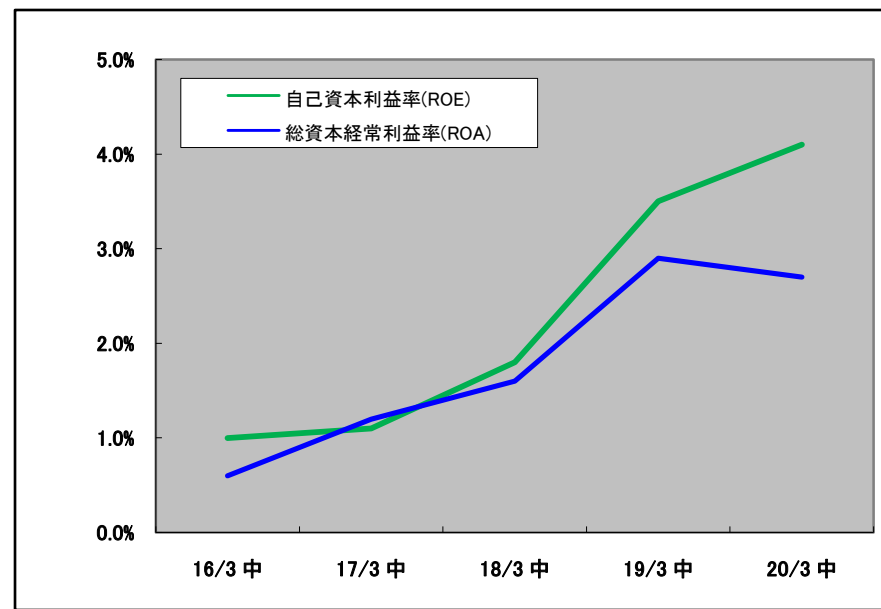
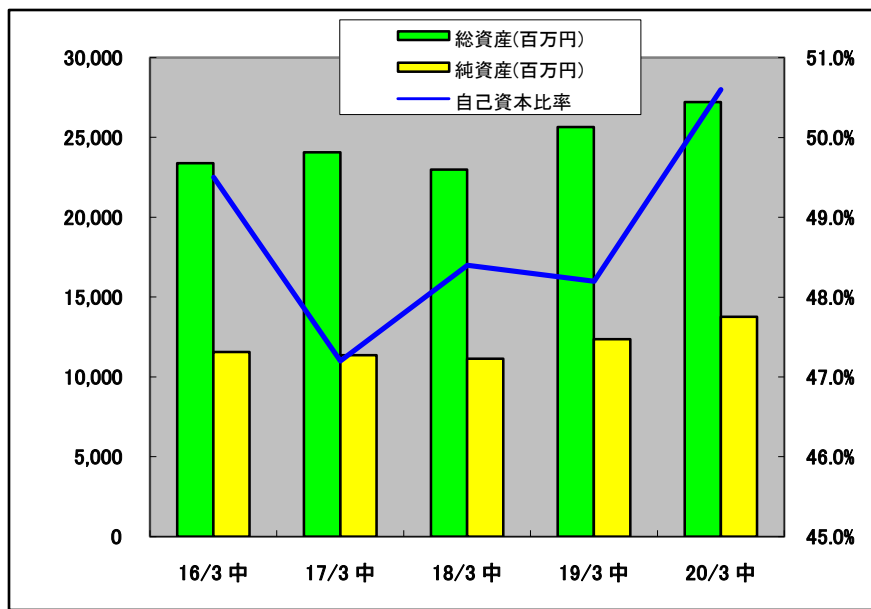
当中間期のご報告

■ 連結業績の推移



百万円

	18/3 中	19/3 中	20/3 中	前期比	18/3	19/3
売上高	10,167	11,640	13,036	12.0%増	21,405	24,874
営業利益	452	845	763	9.7%減	1,061	1,755
営業利益率	4.5%	7.3%	5.9%	1.4P減	5.0%	7.1%
経常利益	383	720	724	0.6%増	943	1,503
経常利益率	3.8%	6.2%	5.6%	0.6P減	4.4%	6.1%
中間(当期)純利益	206	442	569	28.7%増	581	1,003
中間(当期)純利益率	2.0%	3.8%	4.4%	0.6P増	2.7%	4.0%



百万円

	18/3 中	19/3 中	20/3 中	18/3	19/3
総資産(百万円)	22,991	25,646	27,224	24,572	26,044
純資産(百万円)	11,133	12,362	13,772	12,088	13,083
自己資本比率	48.4%	48.2%	50.6%	49.2%	50.2%
自己資本利益率(ROE)	1.8%	3.5%	4.1%	4.9%	8.0%
総資本経常利益率(ROA)	1.6%	3.0%	2.7%	4.0%	5.9%

当中間連結会計期間における世界経済は、設備投資や輸出の増加を背景に、中国経済は好調を維持している他、他のアジア諸国においても、全体として緩やかな景気拡大が続きました。またEU諸国についても、底堅い個人消費と輸出の増加を背景に比較的堅調な推移となりました。米国経済につきましては、個人向け住宅融資問題の影響を受け景気は減速懸念が高まる中での推移となりました。

国内経済におきましては、個人消費の伸び悩みはあるものの、企業収益は拡大を続け、民間設備投資需要も増加基調となり、緩やかながら拡大を続けての推移となりました。

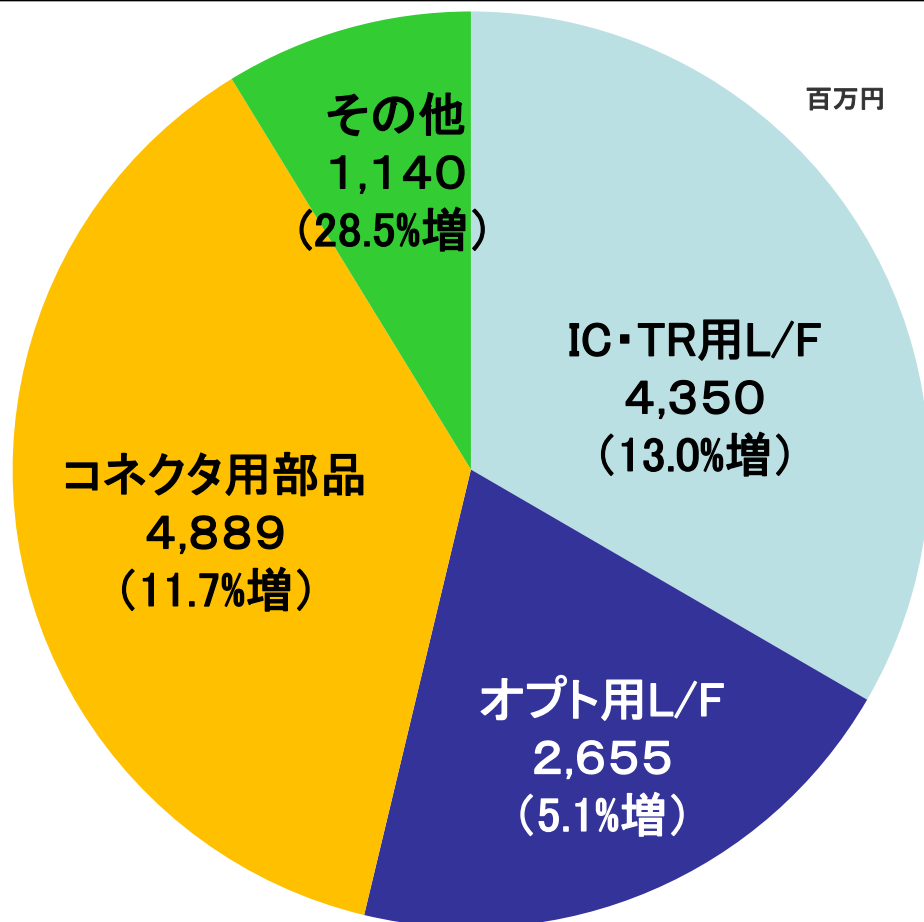
当社グループの属する電子部品業界におきましては、期初一部地域において生産調整が見られましたが、携帯電話、LCD・PDP等の薄型テレビ、デジタルオーディオプレーヤー、車載向け機器等の需要拡大を背景に需要は拡大傾向での推移となりました。

このような状況下、当社グループは、現在コア事業として捉え、事業拡大を図っているLEDに代表されるオプト関連用部品及びコネクタ用部品の製造に経営資源を集中し、積極的な受注拡大に努めて参りました。

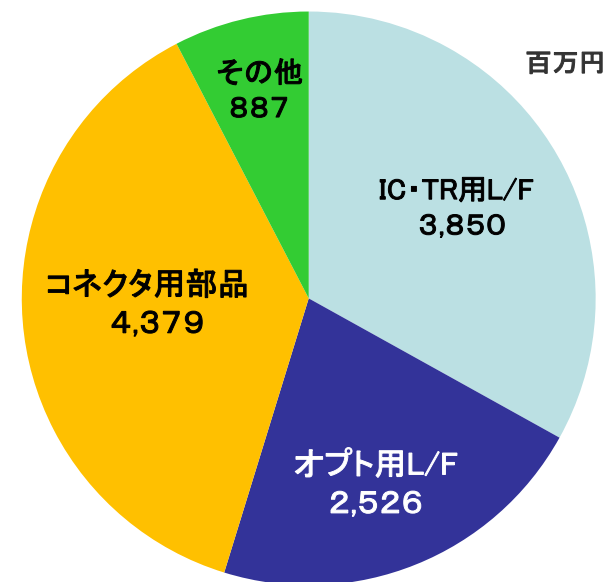
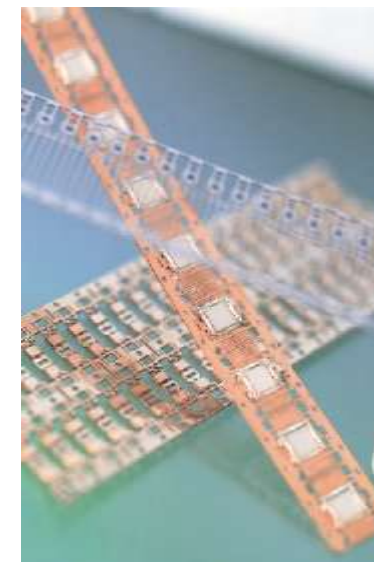
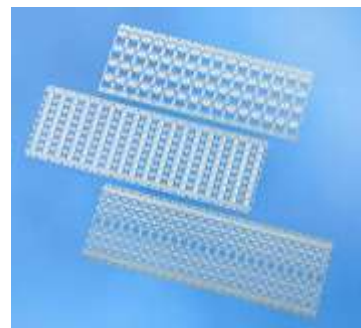
また、製品価格の下落及び、銅・ニッケル等の原材料価格の高止まりによる利益圧迫要因に対応するため、更なる生産性の向上と高付加価値製品の開発、事業活動の効率化に努めて参りました。

その結果、当中間連結会計期間の売上高は130億3千6百万円(前年同期比12.0%増)、営業利益7億6千3百万円(同9.7%減)、経常利益7億2千4百万円(同0.6%増)、中間純利益5億6千9百万円(同28.7%増)となりました。

■製品群別業績(売上高)



平成20年3月期中間



平成19年3月期中間



①IC・TR用リードフレーム

当製品群は、車載向け、民生用機器向けが主なものであります。底堅く高水準な需要が続く中、顧客ニーズへの対応に努めて参りました。当製品群の売上高は43億5千万円(前年同期比13.0%増)となりました。

②オプト用リードフレーム

当製品群は、LED用部品およびレーザー用部品が主なものであります。車載向け、電子機器向け、遊戯向け等を中心に需要拡大が続くオプト用部品の受注拡大に努めて参りました。その結果、当製品群の売上高は26億5千5百万円(同5.1%増)となりました。

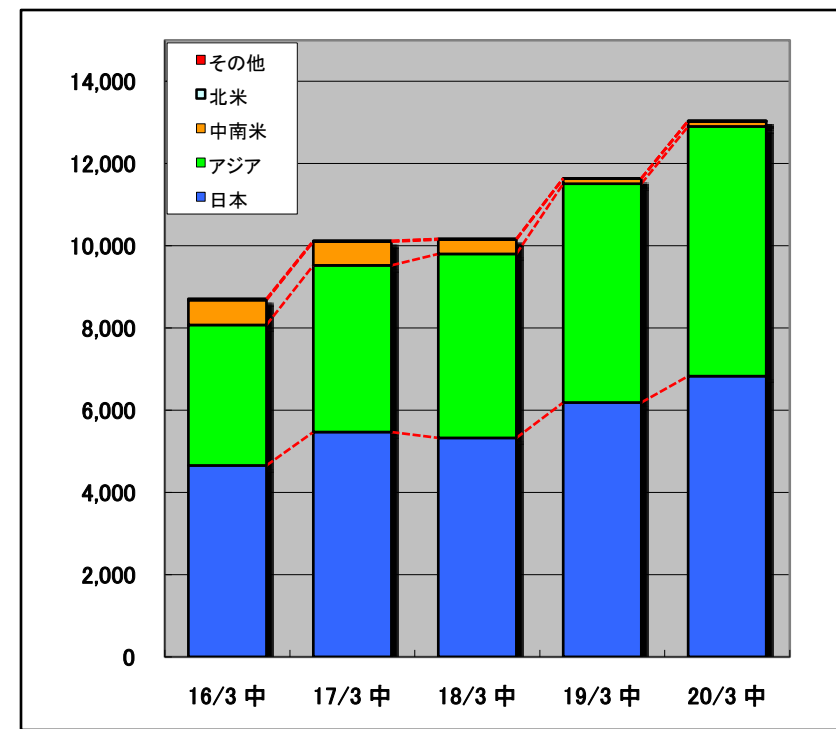
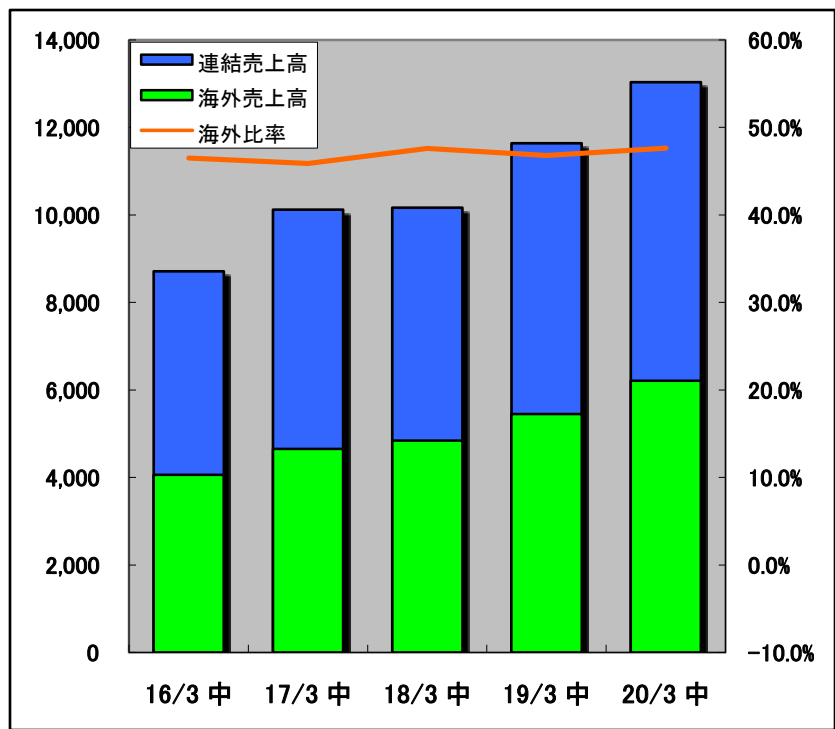
③コネクタ用部品

当製品群は、携帯電話向け、デジタル家電向けが主なものであります。弊社の得意とする微細加工技術をベースに、携帯電話向けの需要が拡大しているマイクロピッチコネクタ用部品への拡販に努めて参りました。当製品群の売上高は48億8千9百万円(同11.7%増)となりました。

④その他

その他の製品群としては、リレー用部品が主なものであります。当製品群の売上高は11億4千万円(同28.5%増)となりました。

■ 地域別売上高

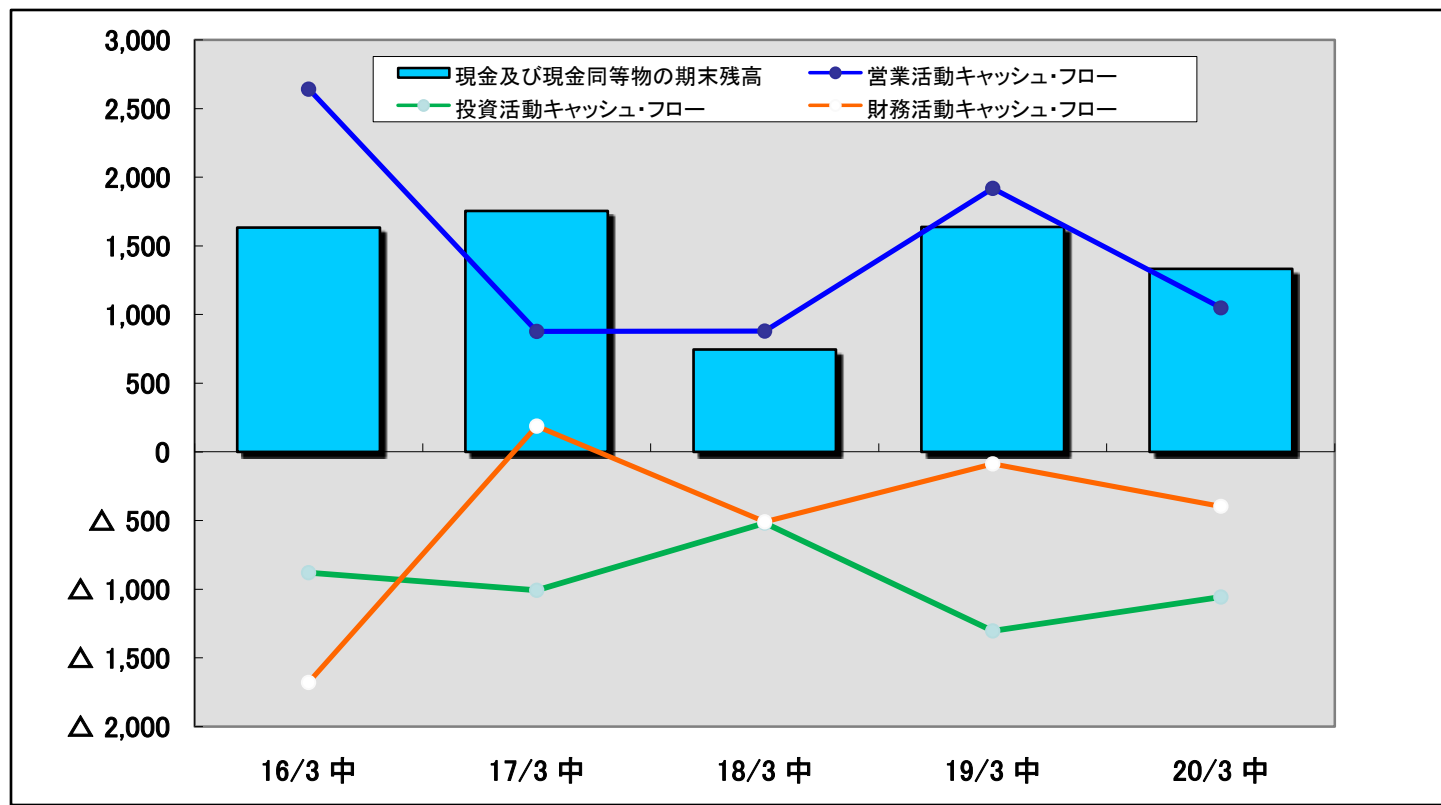


百万円

	16/3中	17/3中	18/3中	19/3中	20/3中
連結売上高	8,713	10,122	10,167	11,640	13,036
海外売上高	4,057	4,653	4,841	5,452	6,210
海外比率	46.5%	45.9%	47.6%	46.8%	47.6%

	16/3中	17/3中	18/3中	19/3中	20/3中
日本	4,656	5,469	5,326	6,187	6,828
アジア	3,417	4,054	4,475	5,322	6,074
中南米	604	576	347	127	131
北米	13	12	15	3	1
その他	21	9	3	0	2

■ キャッシュ・フロー



百万円

	18/3 中	19/3 中	20/3 中	前期比	18/3	19/3
営業活動によるキャッシュ・フロー	880	1,919	1,049	△870	2,490	3,576
投資活動によるキャッシュ・フロー	△518	△1,305	△1,057	248	△1,464	△2,029
財務活動によるキャッシュ・フロー	△510	△88	△397	△308	△835	△994
現金及び現金同等物の期末残高	744	1,638	1,332	△306	1,132	1,715

当中間連結会計期間における連結ベースの現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3億8千2百万円減少し、当中間連結会計期間末には13億3千2百万円となりました。

○営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は10億4千9百万円(前年同期比45.3%減)となりました。これは税金等調整前中間純利益7億3百万円、減価償却費8億1千3百万円による資金の増加、売上債権の増加3億7千万円及びたな卸資産2億8百万円等の資金の減少によるものであります。

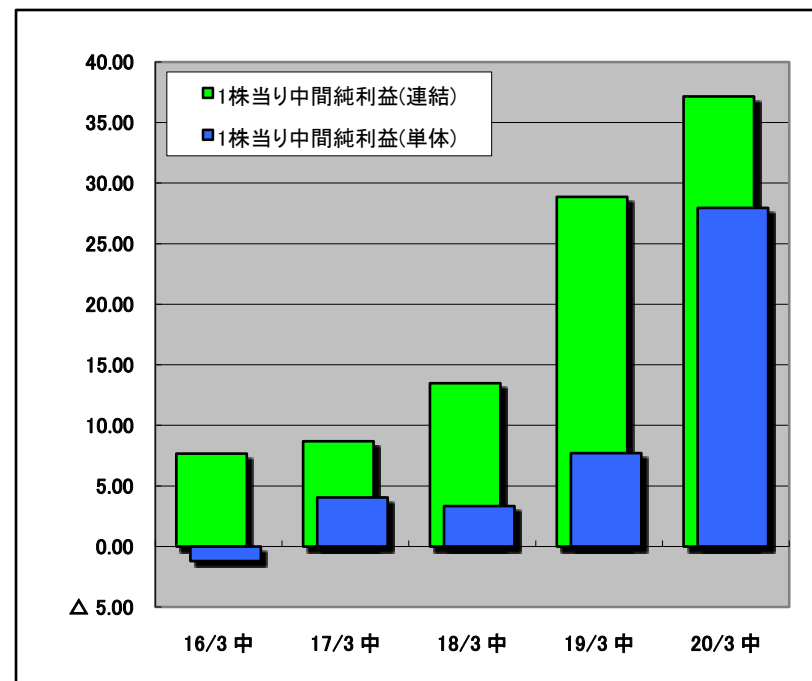
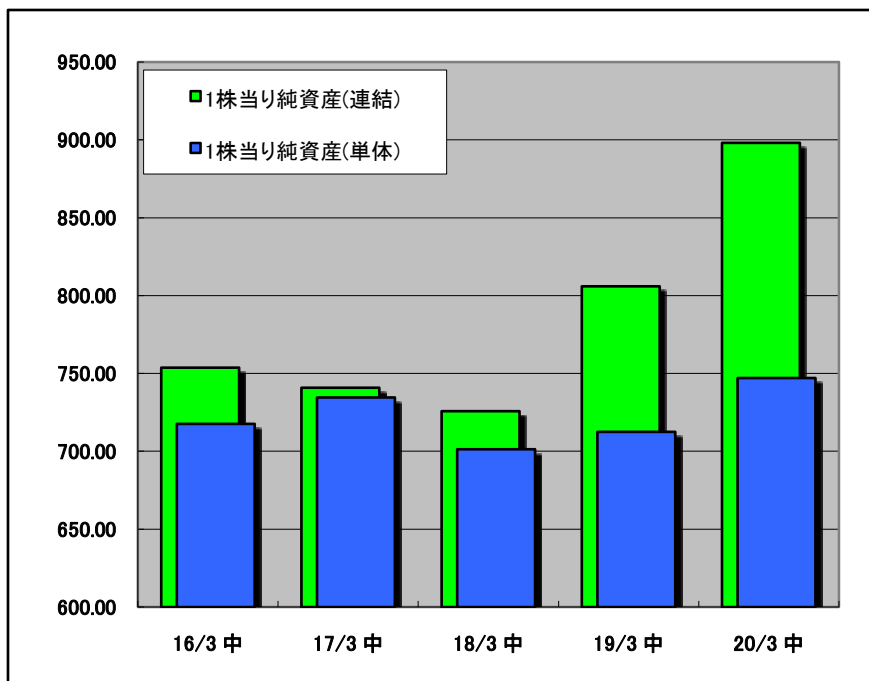
○投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は10億5千7百万円(同18.9%減)となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

○財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は3億9千7百万円(同351.4%増)となりました。これは主に長期借入金4億7千8百万円の返済によるものであります。

■ 1株当り指数



円

	18/3 中	19/3 中	20/3 中	18/3	19/3
1株当り純資産(連結)	725.77	805.93	898.03	788.07	853.01
1株当り純資産(単体)	701.33	712.50	747.06	711.52	729.00
1株当り中間(当期)純利益(連結)	13.48	28.86	37.15	37.90	65.42
1株当り中間(当期)純利益(単体)	3.34	7.71	27.95	13.32	31.05

○利益配分に関する基本方針

株主の皆様への利益配当金について、当社は、株主に対する利益還元を経営の最重要政策と位置づけており、将来の事業展開と経営基盤の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当の継続を重視し、業績に裏付けられた成果の配分を行うことを基本方針としております。内部留保資金につきましては、電子部品業界における技術革新に対応するためタイムリーな製品開発に努め、成長に向けての有効な投資に活用してまいります。

当期の配当につきましては、中間配当金は1株当たり9円、期末配当金も1株当たり9円とし、当期の年間配当金は1株につき18円を予定しております。

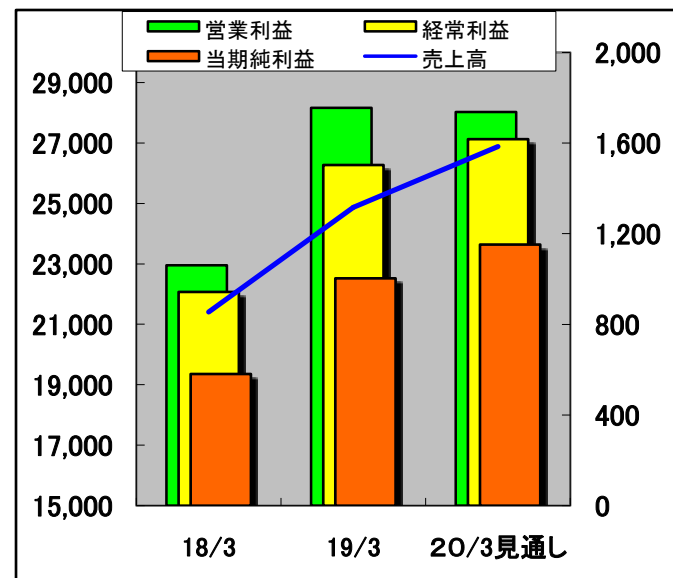
今期の見通し

■通期業績予想

●連結

	18/3	19/3	20/3見通し	前期比
売上高	21,405	24,874	26,884	8.1%増
営業利益	1,061	1,755	1,737	1.1%減
営業利益率	5.0%	7.1%	6.5%	0.6P減
経常利益	943	1,503	1,617	7.6%増
経常利益率	4.4%	6.0%	6.0%	0P減
当期純利益	581	1,003	1,152	14.8%増
当期純利益率	2.7%	4.0%	4.3%	0.3P増

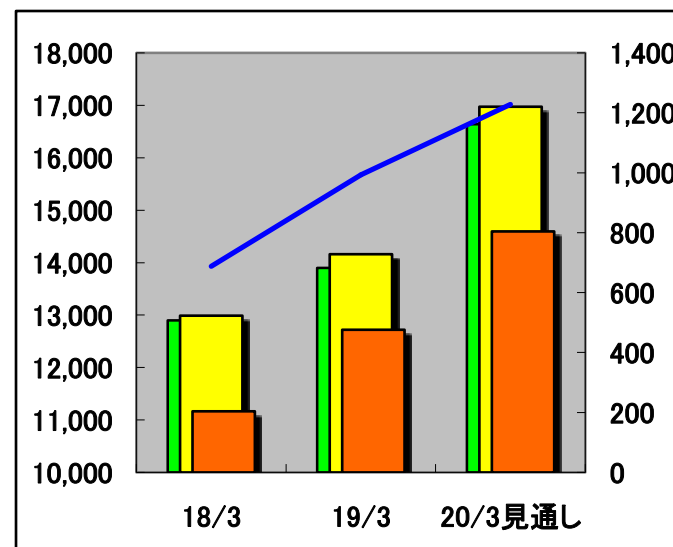
百万円



●単体

	18/3	19/3	20/3見通し	前期比
売上高	13,931	15,674	17,018	8.6%増
営業利益	507	682	1,162	70.3%増
営業利益率	1.5%	4.4%	6.8%	2.4P増
経常利益	523	728	1,220	67.4%増
経常利益率	3.8%	4.7%	7.2%	2.5P増
当期純利益	204	476	804	68.8%増
当期純利益率	1.5%	3.0%	4.7%	1.7P増

百万円



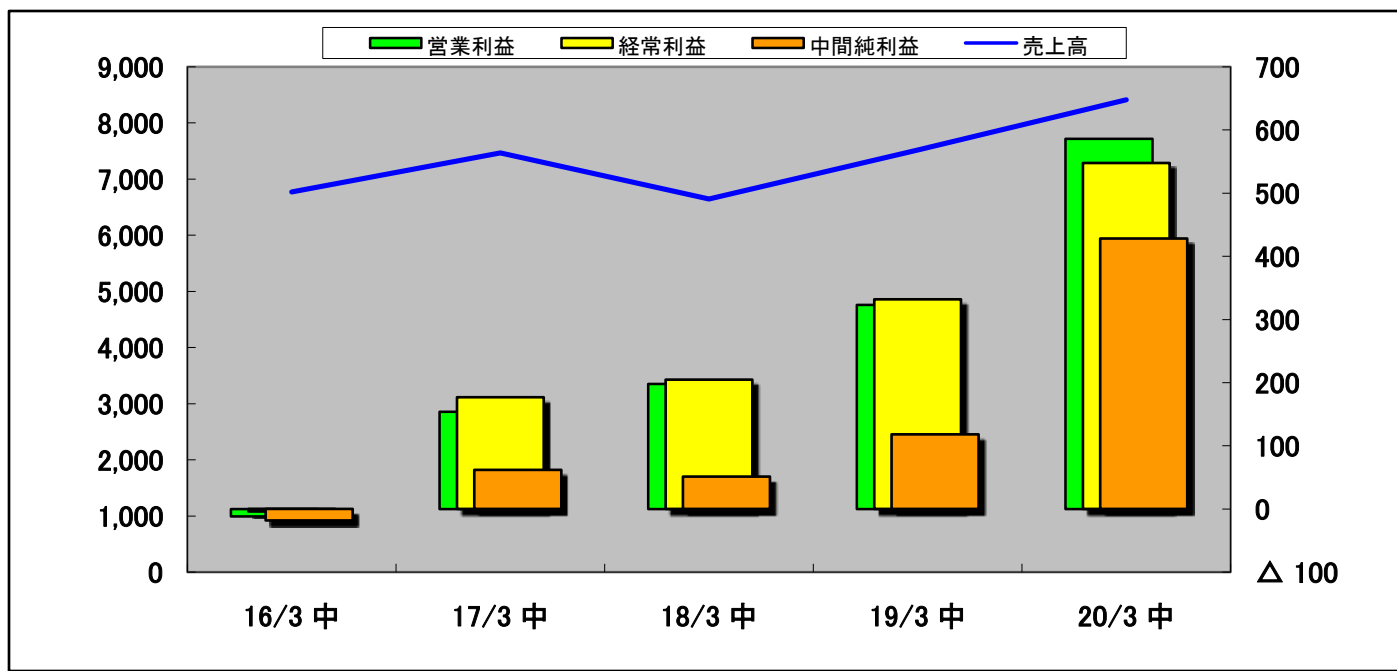
今後の見通しにつきましては、米国景気の鈍化の影響や国内の設備投資の一巡などからある程度の調整色は強まると予想されますが、個人消費と設備投資が好循環に入っている内需を中心に、引き続き高水準を維持していくものと思われます。

当社グループの属する電子部品業界につきましては、銅・ニッケル等の原材料の高止まり、海外生産拠点へのシフト、価格競争の激化、部品の内製化への動き等楽観視を許さぬ状況が予測されますが、携帯電話、パソコン、デジタル家電等の需要が世界規模で拡大を続けるものと思われます。

通期の連結業績予想といたしましては、原材料価格・為替市場の変動による収益への影響、市場における流通在庫等の調整局面等の様々なリスクが想定されますが、当社グループの関連する電子部品業界は引き続き堅調に推移すると見込まれる事から、売上高は268億8千4百万円(前年同期比8.1%増)、経常利益は16億1千7百万円(同7.6%増)、当期純利益は11億5千2百万円(同14.8%増)を見込んでおります。

補足資料

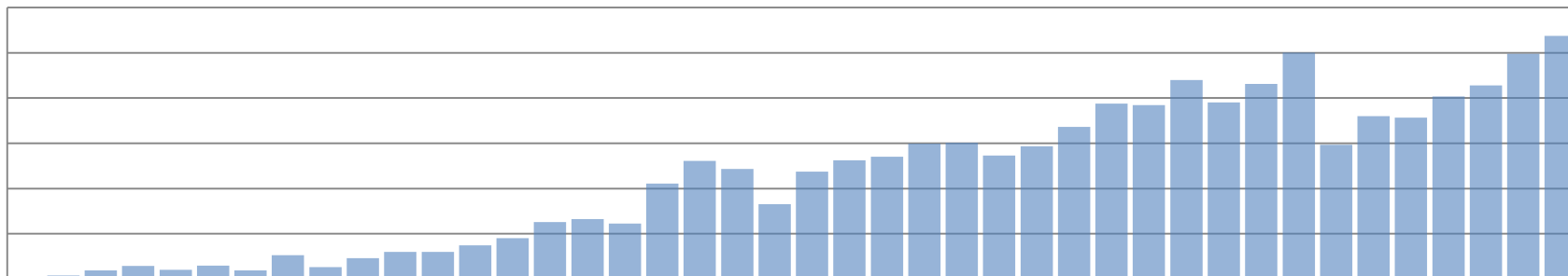
■単体の業績推移



百万円

	18/3 中	19/3 中	20/3 中	前期比	18/3	19/3
売上高	6,644	7,519	8,412	11.9%増	13,931	15,674
営業利益	198	323	586	81.0%増	507	682
営業利益率	3.0%	4.3%	7.0%	2.7P増	3.6%	4.4%
経常利益	205	332	548	64.8%増	523	728
経常利益率	3.1%	4.4%	6.5%	2.1P増	3.8%	4.7%
中間純利益	51	118	428	262.4%増	204	476
中間純利益率	0.8%	1.6%	5.1%	3.5P増	1.5%	3.0%

当社グループは市場と顧客の情報を迅速かつ的確に把握し、顧客ニーズに対し付加価値の高い製品や情報の提供に努め、相互に利益を享受することを通じて、信頼関係を深め、将来にわたり安定的な成長と収益基盤の確立を目指しております。



①グローバル供給体制の確立

近年、電子部品業界は製品の適地生産・適地供給が強く求められており、そのニーズに対応するため、品質やサービスのレベルを向上させながら、調達・生産・販売の最適化を図るべく、グループ全体での分業・供給体制の強化を進めて参ります。

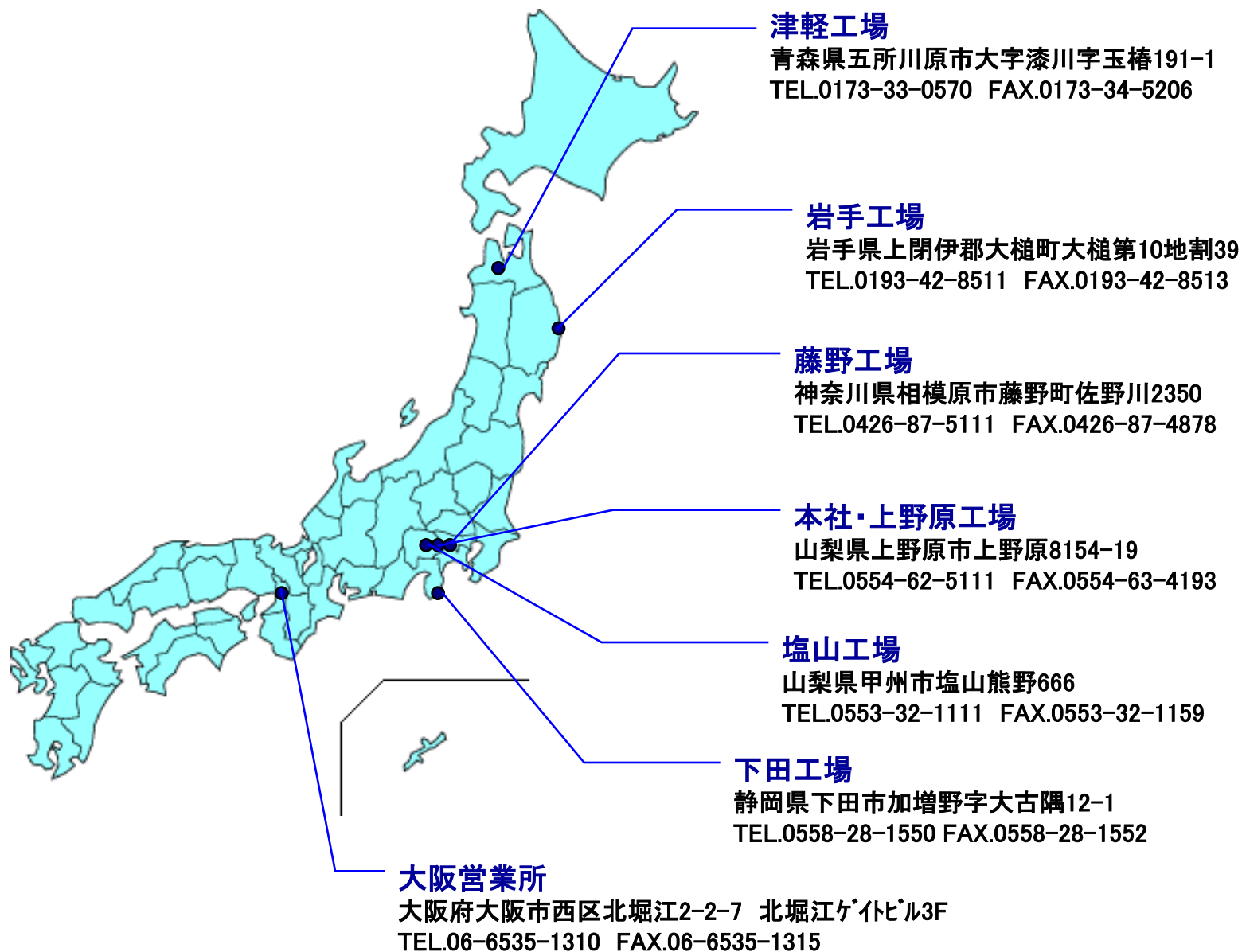


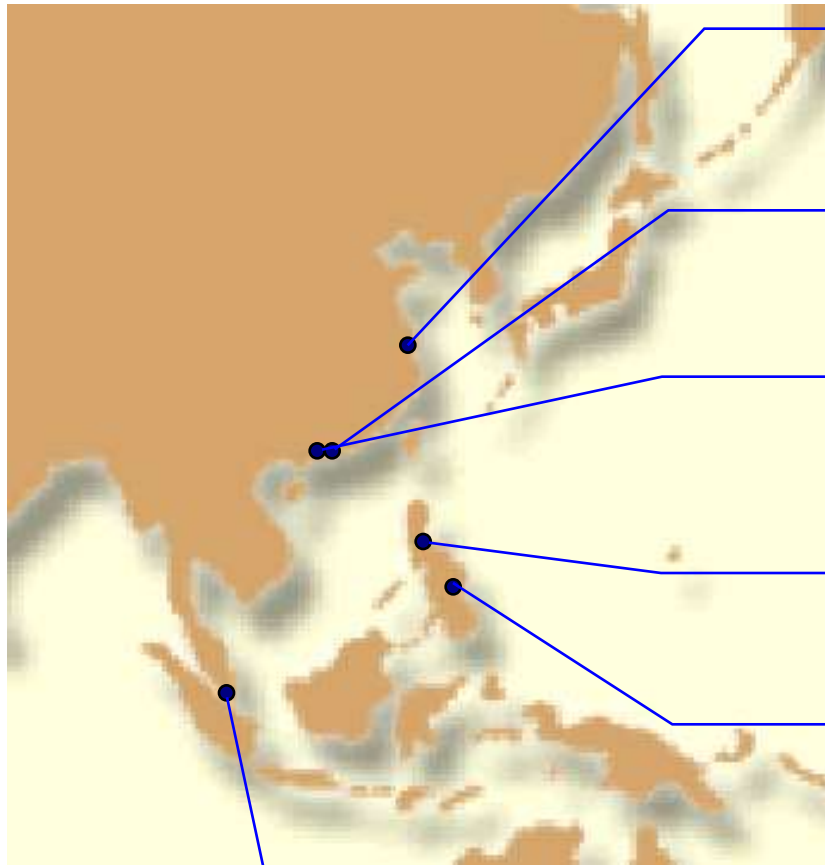
②事業基盤の確立

国際競争が激化に伴い製品価格の低下が続く中、当社は高付加価値品への転換を図るべく、営業力、技術力の強化を図って参ります。

現在、培ってきた微細加工技術・インサートモールド技術を基に、次世代の光源として注目をあびているLED、電子機器の小型化に伴い需要の高まっている狭ピッチコネクタへの積極的展開を進めております。







ENOMOTO WUXI Co.,Ltd.

江蘇省無錫市無錫國家高新技術產業開發區96號-C
TEL.+86-510-5345222 FAX.+86-510-5344008

ENOMOTO HONG KONG Co.,Ltd

香港九龍梳士巴利道3號星光行1805室
TEL.+852-2199-7848 FAX.+852-2199-7918

ZHONGSHAN ENOMOTO Co.,Ltd.

廣東省中山市火炬開發區逸仙工業區
TEL.+86-760-533-5111 FAX.+86-760-533-5113

ENOMOTO PHILIPPINE MANUFACTURING Inc.

PEZA-Gateway Business Park Javalera Gen.Cavite Philippine.
TEL.+63-46-433-0263 FAX.+63-46-433-0264

**ENOMOTO PHILIPPINE MANUFACTURING INC.
CEBU OPERATIONS**

Cebu Light Industrial Park, Special Economic Zone, Washington
Road, Basak, Lapu-Lapu City, Cebu, Philippines 6015
TEL.+63-32-341-2223 FAX.+63-32-341-2228

ENOMOTO PRECISION ENGINEERING(S)Pte.Ltd.

30Loyang Drive,Singapore 508945
TEL.+65-6542-4542 FAX.+65-6542-2484

注意事項

事業の展望、業績予想等の将来の動向にかかる記載につきましては、歴史的事実ではないため、不確定な要素を含んでおります。

現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があることをご了承願います。